

新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和7年度分）

【施設の概要】（所管部記入）

施設名	新座市民会館			
所在地	新座市野火止 1－1－2		所管部署	教育総務部生涯学習スポーツ課
制度導入年度	平成28年度		選定方法	☒ 公募 / ☐ 指名
指定管理者	名称	株式会社ケイミックスパブリックビジネス	所在地	東京都千代田区神田小川町 1－2
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）		

【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	市民会館の設置理念である「市民の文化的向上と福祉の増進を図る」を達成するため、基本協定書、年度協定書、仕様書、条例、施行規則等に基づき、指定管理業務を実施しました。公の施設として公平と安全に配慮し、市民や地域の利用者の意見を反映し、サービスの向上に努めるとともに、設置の理念に合致した自主事業について、本年度は19事業を計画し、追加事業も含め全21事業を実施しました。 また、会館運営業務の効率化を図り、効率的・効果的な管理運営を実施し、経費削減に努めました。指定管理者として2回目の更新である、3期2年目の本年度は、過去9年間で確認している諸問題の改善に取り組み、一つひとつの業務を着実に実施するよう努めました。
特筆事項	※ 運営において創意工夫した点や指定管理者の提案による新たな取組等を記載 新型コロナウイルスは、社会にも、個人にも大きな影響を与えましたが、その影響も平準化し、市民の日常生活、文化活動も、コロナ禍以前のように活発になってきました。 また、日本国内及び、世界情勢の影響から、エネルギー費の高騰は継続しており、電気とガス価格次第で、厳しい施設運営となりました。 そのような状況のなかでも、利用者本位の運営を心掛け、利用しやすい施設づくりを目指した結果、年間のホール稼働率は、令和6年度57.8%から、令和7年度63.7%と【+5.9%】に、会議室の稼働率は、令和6年度41.2%から、令和7年度46.6%と【+5.4%】と、増加傾向でありました。引き続き、利用しやすい施設づくりを目指してまいります。 本年度の特筆した事項として、次のとおり、実施いたしました。 - 令和6年度から制定した、「市民会館後援名義申請」制度を継続し、一定の条件を付しますが、貸館利用者のイベント情報の広報協力を行いました。 - 聴覚障がい者が気軽にイベントに参加できるよう、意思疎通支援の周知に係るご案内を継続しています。 - 経年劣化していたホール「紗幕」をリニューアルいたしました。 - 経年劣化していたホール・ホワイエの床タイルををリニューアルいたしました。 - 自主事業において、多彩なジャンル、各年齢層に合致する公演・講座・WS等を開催しました。（スマホ講座、地域で活動する講師を起用した体験教室・演劇WS、吹奏楽コンサート、NHK公開収録事業など。）

【総合評価】

指定管理者の自己評価				
総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	☒	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	☐	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	市民会館の指定管理者として10年目の運営となり、市と連携しながら、市民会館の設置理念である「市民の文化的向上と福祉の増進を図る」を達成するため、基本協定、年度協定書、仕様書、条例、施行規則等に基づいた管理運営に努めました。また、ご利用者が安全、快適に利用して頂けることを最優先として考え適正な備品購入、修繕対応等による運営を心がけました。 引き続き、市、地域の各団体や事業所、市民のみなさまとともに、文化芸術の拠点、市民の文化活動を発表する場、文化活動を通して地域の方が交流する場所となるよう、全国の文化施設を管理運営しているノウハウを活用し、市の施策に貢献できるよう努めてまいります。			
改善策	※ 評価Bの場合のみ記入			

市の評価

総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	☒	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	☐	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	仕様書や事業計画書に沿って、適切に施設の管理運営が行われていた。後援名義申請制度や聴覚障がい者に対する支援の周知、公共施設予約システムのリニューアルへの協力等、様々な方が利用しやすい施設となるような取組がなされていた。利用者アンケートにおいても、職員対応マナーは一定の評価を得ており、引き続き親切・丁寧な対応が望まれる。 自主事業に関しては、地域連携事業や体験発表事業等、多彩な内容で実施され、市民が文化芸術に触れる機会を創出するとともに、施設の認知度の向上にも貢献したと考える。 今後も、会館の設置目的である市民の文化的向上と福祉の増進に向け、創意工夫により更なる魅力ある施設運営を期待したい。			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

新座市民会館（以下、本施設）の指定管理者としてのビジョン、「文化芸術の力で心豊かなまちづくり」を基本方針に掲げ管理運営に取り組むとともに、本施設の設置目的、「市民の文化的向上と福祉の増進を図る」を実現するべく、各管理業務を執り行うことで、利用者サービスの拡充、多彩な自主事業を展開することで、市民により多くの文化芸術にふれる機会を提供できるよう努めてまいります。

令和7年度は市主導ではありますが、新施設予約システムの導入などの“システム”の仕様変更を図りました。3期、指定管理者として指定いただいた結果、よりきめ細かいサービスを創出し提供できる環境を整備しています。引き続き、利用者サービスの向上に努めてまいります。

また、幅広い世代に向けて、魅力のある自主事業の開催することで、新座市に居住している歓びと、満足感を感じていただけるよう、鑑賞公演を企画・提供し、豊かな心を育む一助になるよう貢献してまいります。

【過年度の評価結果まとめ】（所管部記入）

評価区分	令和6年度 （1年目）	令和7年度 （2年目）	令和8年度 （3年目）	令和9年度 （4年目）	令和10年度 （5年目）
指定管理者の自己評価	A	A			
市の評価	A	A			